OS と Starter Pack の対応 (NX7700x/A7010E-2, A7010E-2c, A7012M-2, A7010E-2(2nd-Gen), A7010E-2c(2nd-Gen), A7012M-2(2nd-Gen)向け)

対象モデル名	対象型番
A7010E-2	NE3300-251Y/-252Y/-253Y
A7010E-2c	NE3300-254Y/-255Y
A7012M-2	NE3300-501Y/-502Y/-503Y/-501L/-503L
A7010E-2(2nd-Gen)	NE3300-261Y/-262Y/-263Y
A7010E-2c(2nd-Gen)	NE3300-264Y/-265Y
A7012M-2(2nd-Gen)	NE3300-511Y/-512Y/-513Y/-511L/-513L

OS と Starter Pack について

NX7700x/A7010E-2, A7010E-2c, A7012M-2, A7012E-2(2nd-Gen), A7010E-2c(2nd-Gen), A7012M-2(2nd-Gen) (以下「サーバ」)は、Starter Pack のバージョンによってサポート可能な OS が変わります。今後、Starter Pack のリリースに伴い、本書も更新いたしますので、リリースサーバーの安定稼動のため、本書および関連資料に記載する手順に従い、使用する OS に対応した最新の Starter Pack を適用してください。

OS インストール準備および Starter Pack の適用

OS インストール準備

1. 「**1 OS と Starter Pack 対応表**」
   インストールする OS に適合する Starter Pack バージョンを確認します。
2. 「**2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認**」
   サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。
   工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外の場合(使用 OS を変更する等)で手順が異なります。

Starter Pack の適用

3. 「**3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用**」
   手順 2 で確認したバージョンの Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。
   ただし、既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。手順 4 に進んでください。
4. 「**4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用**」
   OS の種別(Red Hat Enterprise Linux / VMware ESXi/ESX /Windows Server/)毎に手順が異なります。
   インストールする OS に合わせて手順を参照してください。

1 OS と Starter Pack 対応表

Starter Pack のバージョンによって、サポート可能な OS が変わります。
下記の表から、利用 OS に対応した Starter Pack を確認してください。

A7010E-2,A7010E-2c,A7012M-2 と A7010E-2(2nd-Gen),A7010E-2c(2nd-Gen),A7012M-2(2nd-Gen)はサポート OS が異なります。詳細は下記 URL をご参照ください

URL: https://jpn.nec.com/nx7700x/support/index.html
→OS サポート情報

対応 OS		Starter Pack バージョン						
		S8.80-006.01 (2nd-Gen は未サポート)	S8.80-006.02 (2nd-Gen は未サポート)	S8.80-006.03	S8.80-006.04	S8.80-006.05	S8.80-006.06	S8.80-006.07
Red Hat Enterprise Linux	8.6	✓						
	8.8			✓				
	8.10					✓		
	9.2		✓	✓				
	9.4				✓			
	9.6							✓
VMware ESXi/ESX	7.0 update 3	✓	✓	✓	✓			
	8.0	✓						
	8.0 update 1	✓	✓					
	8.0 update 2		✓	✓	✓	✓	✓	✓
	8.0 update 3				✓	✓	✓	✓
	9.0					✓	✓	✓
Windows Server	2019				✓	✓	✓	✓
	2022	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	2025					✓	✓	✓

補足事項

- サーバ(N 型番)および Starter Pack 製品(UL 型番)は、ご注文時の最新バージョンの Starter Pack、EXPRESSBUILDER が適用、収録され出荷されます。過去のバージョンの Starter Pack は、NEC Web サイトよりダウンロードしてください。
  サーバの保証期間内および保守契約期間であれば無償でダウンロードできます。
  ダウンロード先: **https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a701x.html**
- S8.80-006.01 と S8.80-006.02 は、A7010E-2(2nd-Gen)と A7010E-2c(2nd-Gen)と A7012M-2(2nd-Gen)は対象外です。

2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認

サーバに適用する Starter Pack バージョンを確認します。工場出荷時に初めて OS をインストールする場合とそれ以外で手順が異なります。

- 工場出荷後に初めて OS をインストールする場合は、A.1 に進みます。
- それ以外の場合
  - OS をクリーンインストールする場合は、B.1 に進みます。
  - OS をインプレースアップグレードする場合は、担当の NEC 営業へお問い合わせください。
  - OS のアップグレードはせず、OS に適合する最新の StarterPack 適用のみの場合は、担当の NEC 営業へお問い合わせください。

A.1 別紙「本体装置出荷時に適用された Starter Pack バージョンの判別方法」を参照して、
本体装置出荷時に適用されている各種ファームウェアバージョンから Starter Pack バージョンを判別してください。
尚、複数の Starter Pack バージョンに一致する場合があります。その場合は、一致する複数の Starter Pack バージョンに適合していることになります。
別紙掲載 URL:
https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a701x.html

A.2 手順 A.1 で確認したバージョンと手順 1「1 OS と Starter Pack 対応表」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

B.1 手順 1「1 OS と Starter Pack 対応表」」で確認したバージョンの内 OS がサポートする最新のバージョンがサーバに適用する Starter Pack バージョンです。

3 Starter Pack 同梱のファームウェアおよび EXPRESS BUILDER の適用

既にインストールする OS に適合する Starter Pack バージョンが適用されていれば、適用は不要です。
手順 4「**4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用**」に進んでください。

それ以外は、手順 2「**2 サーバに適用する Starter Pack バージョンの確認**」で確認した Starter Pack を使用してファームウェアおよび EXPRESS BUILDER を適用します。
Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って適用してください。

Starter Pack 掲載 URL:**https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a701x.html**

4 OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用

OS の種別毎に手順が異なります。インストールする OS に合わせて手順を参照してください。
OS に対応する説明書は、「**OS と説明書の対応表**」を参照してください。

- Red Hat Enterprise Linux の場合は、インストレーションガイド(Linux 編)と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。

- VMware ESXi/ESX の場合は、仮想化環境準備項目一覧と Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。

- Windows Server の場合は、Starter Pack 掲載 URL の各バージョンのダウンロードページに記載された手順に従って OS のインストールおよび Starter Pack(ドライバー、バンドルソフトウェア)の適用をしてください。

OS と説明書の対応表

対象 OS		説明書			
		本書	インストレーションガイド (Linux 編)	仮想化環境準備項目一覧	インストレーションガイド (Windows 編)
Red Hat Enterprise Linux	8.6	✓	✓		
	8.8	✓	✓		
	8.10	✓	✓		
	9.2	✓	✓		
	9.4	✓	✓		
	9.6	✓	✓		
VMware ESXi/ESX	7.0 update 3	✓		✓	
	8.0	✓		✓	
	8.0 update 1	✓		✓	
	8.0 update 2	✓		✓	
	8.0 update 3	✓		✓	
	9.0	✓		✓	
Windows Server	2019	✓			✓
	2022	✓			✓
	2025	✓			✓

各説明書は下記より入手してください。

- インストレーションガイド(Linux 編) : https://jpn.nec.com/nx7700x/support/manual/a701x.html
- 仮想化環境準備項目一覧 : https://jpn.nec.com/nx7700x/support
- インストレーションガイド(Windows 編) :
  Starter Pack 掲載 URL からサーバに適用されている Starter Pack バージョンと同じバージョンを選択し、掲載されているインストレーションガイドを入手してください。
  Starter Pack 掲載 URL : https://jpn.nec.com/nx7700x/support/patch_a701x.html

(参考) iLO6 のファームウェアバージョン確認方法

iLO6 ファームウェアのバージョンを確認する方法は下記 3 通りあります。いずれかを実施します。

- サーバの System Health Summary 画面で確認する方法
  1. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
  2. サーバの AC 電源を ON にします。
  3. [Server Health Summary]画面を表示するため、サーバ前面の UID ボタンを押し、UID をオンにします。
     注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
  4. サーバが接続されたディスプレイ上に[Server Health Summary]画面が表示されます。画面上に表示される『iLO Firmware』の項から、iLO ファームウェアのバージョンを確認してください。
  5. [Server Health Summary]画面を閉じるため、サーバ前面の UID ボタンを押し、UID をオフにします
     注意事項: 5 秒以上押し続けると iLO の再起動が開始されるため、長押し操作は行わないようにお願いします。
- サーバのローカルコンソールで確認する方法
  1. サーバの電源が ON の場合は、シャットダウンして電源を OFF にします。
  2. サーバにディスプレイとキーボードを接続します。
  3. サーバの電源を ON にします。POST 画面が表示されますので、キーボードの<F9>キーを押します。
  4. システムユーティリティ画面が表示されますので、キーボードを操作し「System Information → Firmware Information」を選択します。
  5. システムユーティリティ画面にファームウェアバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです。
     - 画面の「iLO Firmware」 → iLO6 ファームウェアのファームウェアバージョン
  6. <ESC>キーまたはシステムユーティリティ画面の「Exit」を選択し、システムユーティリティを終了します。
     注) システムユーティリティの操作方法は、メンテナンスガイドの「便利な機能」、「システムユーティリティ」を参照します。
- iLO Web インターフェースを利用して、リモートから確認する方法
  1. iLO6 の管理用ネットワークに接続できる PC 端末を準備します。
  2. PC 端末の Web ブラウザーを起動し、iLO Web インターフェースに接続し、ログインします。
  3. 左メニューの「ファームウェア & OS ソフトウェア」を選択し、「ファームウェア」を選択します。
  4. iLO Web インターフェース画面にファームウェアのバージョンが表示されます。画面表示との対応は下記のとおりです
     - 画面の「iLO→ iLO6 のファームウェアバージョン
  5. Web ブラウザーを終了し、iLO Web インターフェース画面を閉じます。
     注) iLO Web インターフェースの操作方法は、iLO6 ユーザーズガイドを参照します。

(参考) 監視・管理サーバのソフトウェアバージョン

本モデルを他の管理 PC(サーバでも代替可)で管理する場合、管理 PC の管理ソフトウェアが本モデルを管理できるバージョンか（本モデルを管理対象としてサポートしているか）確認してください。 ESMPRO/ServerManager を利用する場合、管理 PC の ESMPRO/ServerManager をアップデートしなければならない場合があります。下記の Web サイトから最新版をダウンロードし、インストールしてください。

ESMPRO/ServerManager ダウンロード

http://jpn.nec.com/esmsm/download.html

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.7(Windows)

⇒ESMPRO/ServerManager Ver.6(Windows)